

## 分子口腔医学・顎顔面外科学研究室 及び口腔再建外科 顎・口腔外科

### (1) 職員並びに学生

教授 : 岡本哲治 (\* 科長 : 岡本哲治 (併任)  
 准教授 : 虎谷茂昭  
 講師 : 林堂安貴  
 大学院助教 : 吉岡幸男, 小泉浩一, 角 健作 (中央籍), 浜名智昭,  
 病院助教 : 谷 亮治, 神田 拓, 砂田(山崎)佐知子, 坂上泰士  
 診療医 : 木村直大 (4月~), 上田 (田口) 有紀, 濱田充子, 中峠洋隆 (~3月), 櫻井  
 繁, 大林史誠, 津島康司 (~3月), 福谷多恵子 (4月~), 中瀬洋司(4月~),  
 檜垣美雷(4月~), 廣田 傑(4月~), 松井健作(4月~),  
 研修登録医 : 高橋 勇, 鍋島 巧, 石田康隆, 宮田秀政, 明見能成, 藤田善教, 岡本康正,  
 伊藤 翼, 坂本哲彦  
 大学院生 : 内迫香織 (~3月), 林 靖也 (~3月), 信本忠義 (~3月),  
 三島健史 (~3月), 佐藤成紀, 高橋秀明  
 (社会人) 片山 巖, 宮田秀政, 有田裕一, 佐渡友浩,

### (2) 主な研究活動

1. 無血清培養法を用いた口腔癌、唾液腺腫瘍の遺伝子・分子診断と治療法の細胞内分泌学的研究 (癌幹細胞、増殖因子、受容体、浸潤・転移、腫瘍性血管新生、分子標的療法)
2. 頭蓋・顎・顔面・口腔の先天異常の分子・遺伝子診断・治療法の研究
3. 健常人及び遺伝性口腔顎顔面疾患患者由来 iPS 細胞株の無血清・無フィーダー細胞・インテグレーションフリー培養系での樹立
4. 遺伝性口腔顎顔面疾患患者末梢血由来 iPS 細胞株とそれを用いた発症機序に関する研究
5. 海洋生物由来生理活性物質の精製と機能解析
6. 口腔癌の光線力学療法に関する研究
7. 活性化NK/LAK細胞を用いた口腔癌の免疫細胞治療に関する研究
8. 顎骨および歯の再生研究 (カエル・マウス未分化細胞を用いて顎骨、眼、歯の再生に成功した。現在、ヒト iPS 細胞を用いて顎骨、眼、歯の再生研究を行っている。)
9. 旧ソ連セミパラチンスク核実験場 (カザフスタン共和国) 周辺住民に多発する頭蓋・顎・顔面・口腔先天異常の分子疫学的研究
10. 近赤外分光法 (Near-infrared spectroscopy: NIRS) を用いた歯科装具の装着刺激による脳血流動態の解析
11. 口腔癌患者の腸内並びに口腔内細菌叢に関する研究

### (3) 研究業績

#### A) 原著 (症例報告を含む)

1. Induction of integration-free human-induced pluripotent stem cells under serum- and feeder-free conditions.: A. Hamada, E. Akagi, S. Yamasaki, H. Nakatao, F. Obayashi, M. Ohtaka, K. Nishimura, M. Nakanishi, S. Toratani, T. Okamoto.: *In Vitro Cell Dev Biol Anim.* doi: 10.1007/s11626-019-00412-w. Epub 2019 Nov. 25.
2. Metastasis of carcinoma ex pleomorphic adenoma to the brain without previous metastasis to the lungs or bones: a case report.: Y. Yoshioka, S. Hayashi, A. Hamada, S.Toratani, T. Okamoto.: *British Journal of Oral and Maxillofacial Surgery*,57(9),926-928,2019
3. Comment on “A novel method to prevent biting through nasolabial flap: Modified oral screen” by

- Chaudhary et al. Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology. Fujita Y, Nishida T, Myoken Y. : *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*, 31(3) 212-213. 2019, May.
4. Comment on “Nonsurgical Management of Medication-Related Osteonecrosis of the Jaws Using Local Wound Care” by Hadaya et al.: Nishida T, Fujita Y, Myoken Y. : *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery*.: 77(5):885-886. 2019 May.
  5. 90 歳以上の超高齢口腔がん患者の臨床的検討. : 坂上泰士, 吉岡幸男, 松井健作, 津島康司, 大林史誠, 濱田充子, 山崎佐知子, 浜名智昭, 角 健作, 神田 拓, 小泉浩一, 谷 亮治, 林堂安貴, 笹原妃佐子, 伊藤 翼, 佐渡友浩, 石田康隆, 岡本康正, 小林雅史, 坂本哲彦, 明見能成, 虎谷茂昭, 岡本哲治. : *日本口腔科学会雑誌* 第 68 卷 1 号 P12-19, 2019.
  6. Adolescent and Young Adult (AYA) 世代(における) 口腔がんの臨床的検討. : 吉岡幸男, 坂上泰士, 松井健作, 津島康司, 大林史誠, 濱田充子, 山崎佐知子, 浜名智昭, 角 健作, 神田 拓, 小泉浩一, 谷 亮治, 林堂安貴, 笹原妃佐子, 伊藤 翼, 佐渡友浩, 石田康隆, 岡本康正, 小林雅史, 坂本哲彦, 明見能成, 虎谷茂昭, 岡本哲治. : *日本口腔科学会雑誌* 第 68 卷 1 号 P20-27, 2019.
  7. 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死 (ARONJ : anti-resorptive agent-related osteonecrosis of the jaw) 患者に生じた深頸部感染症の 3 例: 山崎佐知子, 虎谷茂昭, 内迫香織, 田口有紀, 吉岡幸男, 岡本哲治: *日本口腔科学会雑誌* 第 68 卷 3 号 p226-231, 2019.
  8. 両側舌下部無痛性腫脹が先行発症した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の 1 例: 信本忠義, 神田 拓, 林 靖也, 谷 亮治, 小川郁子, 岡本哲治. : *日本口腔科学会雑誌* 第 68 卷第 4 号 p294-298, 2019
  9. 口蓋膿瘍に至った歯内歯根尖性歯周炎の一例.: 木村直大, 佐渡友浩, 吉岡幸男, 芳村喜道, 虎谷茂昭, 岡本哲治.: *広島大学歯学会雑誌* 第 51 卷 2 号 p127-130, 2019.
  10. 頬粘膜に生じた小唾液腺唾石症の 1 例: 信本忠義, 吉岡幸男, 檜垣美雷, 坂本真一, 小川郁子, 虎谷茂昭, 岡本哲治: *広島大学歯学会雑誌* 第 51 卷 2 号 p112-115, 2019
  11. 幼少期に摘出したが口腔底に再発した巨大な甲状舌管嚢胞の一例.: 伊藤 翼, 原 潤一, 米原修治, 瀬波正樹. *厚生連尾道総合病院医報* 第 29 号 P23-26, 2019.
  12. 疾患特異的 induced pluripotent stem cell (DS-iPSC) の樹立と疾患研究. : 中瀬洋司, 濱田充子, 中峠洋隆, 大林史誠, 山崎佐知子, 畑 毅, 北村直也, 山本哲也, 虎谷茂昭, 岡本哲治. : *口腔組織培養学会誌* 第 28 卷 p23-24, 2019.
  13. 無血清培養系を用いた扁平上皮癌細胞株からの放射線耐性細胞の樹立とその機能解析. : 濱田充子, Nguyen Quang Tam, 内迫香織, 中瀬洋司, 中峠洋隆, 虎谷茂昭, 岡本哲治. : *口腔組織培養学会誌*, 第 28 卷 1 号: P33-34, 2019.
  14. 口腔原発神経内分泌癌由来細胞株の樹立 初代培養腫瘍細胞の増殖様態から診断されるに至った口腔原発神経内分泌癌. : 佐藤成紀, 濱田充子, 櫻井 繁, 浜名智昭, 虎谷茂昭, 岡本哲治. : *口腔組織培養学会誌*(1347-6661) 28 卷 1 号 Page9-10.

## B) 総説

該当なし

## C) 著書

該当なし

## D) その他の出版物

該当なし

## E) 学会発表

## 国際学会発表

1. Establishment and Characterization of Disease-specific Human iPSCs in Serum-, Integration- and Feeder-free Cultures.: A. Hamada, Y. Nakase, F. Obayashi, T. Fukutani, H. Nakatao, E. Sakaue, S. Yamasaki, T. Kanda, K. Koizumi, Y. Yoshioka, R. Tani, S. Toratani, JD. Sato, T. Okamoto.: Annual Meeting of Society for In Vitro Biology Meeting (Tampa, Florida, USA) 2019.6.9.
2. 2019 SIVB Lifetime Distinguished Achievement Award Lecture, Annual Meeting of Society for In Vitro Biology Meeting (Tampa, Florida, USA) 2019.6.9.

## 海外招待講演

1. Microbiome related to oral cancer and Immunotherapy in oral cancer, Tetsuji Okamoto, Taipei Medical University Oct 21, 2019.
2. Disease-specific Human iPSCs in Serum-, Integration- and Feeder-free Cultures, Tetsuji Okamoto, Tufts University School of Dental Medicine, Boston, 12 Nov, 2019.

## 国内学会

1. 経頭蓋刺激運動誘発電位モニタリング施行症例における周術期口腔機能管理.:伊藤奈七子, 山崎義晴, 丸子恵, 藤原 靖, 眞鍋英喜, 岡本康正.:第 40 回脊髄機能診断研究会 (東京), 2019. 2. 2.
2. 脳神経外科入院患者への歯科介入による病棟スタッフの意識変化と今後の課題.:伊藤翼, 奥河知恵, 鹿林七瀬, 鷹津冬良.:第 44 回日本脳卒中学会学術集会 (横浜), 2019. 3. 21-23
3. 無血清培養系での口腔癌由来細胞株の樹立.:濱田充子, 佐藤成紀, 内迫香織, 中瀬洋司, 大林史誠, 中峠洋隆, 山崎佐知子, 谷 亮治, 虎谷茂昭, 岡本哲治.:第 73 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 (川越), 2019. 4. 20-21.
4. 無血清培養系を用いた扁平上皮癌細胞の放射線耐性獲得機構の細胞内分泌学的 機能解析: 内迫香織, 濱田充子, 三島健史, 松井健作, 谷亮治, 虎谷茂昭, 岡本哲治.:第 73 回 NPO 法人日本口腔科学会総会(川越), 2019. 04. 20.
5. 尾道総合病院における医科歯科連携周術期口腔ケアの現状.:伊藤 翼, 鷹津冬良.:第 73 回 NPO 法人日本口腔科学会学術総会 (川越), 2019. 4. 20-21.
6. 口腔扁平上皮癌における human papilloma virus (HPV) 16 の関与.: 林 靖也, 虎谷茂昭, 中峠洋隆, 松井健作, 福谷多恵子, 濱田充子, 吉岡幸男, 谷亮治, 岡本哲治.:第 73 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 (川越), 2019. 4. 20-21.
7. 当科で加療したエナメル上皮腫の臨床的検討.:津島康司, 神田 拓, 田口有紀, 浜名智昭, 小泉浩一, 吉岡幸男, 谷 亮治, 林堂安貴, 虎谷茂昭, 岡本哲治.:第 73 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 (川越), 2019. 4. 20-21
8. 口蓋膿瘍を併発した歯内歯の 1 例.:木村直大, 佐渡友浩, 國安弘基, 芳村喜道, 岡本哲治.:第 73 回 NPO 法人日本口腔科学会学術総会, (川越) 2019.4.20-21.
9. 口腔原発神経内分泌癌由来細胞株の樹立 -初代培養腫瘍細胞の増殖様態から診断されるに至った口腔原発神経内分泌癌-. :佐藤成紀, 濱田充子, 櫻井 繁, 浜名智昭, 虎谷茂昭, 岡本哲治.:第 73 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 (川越), 2019. 4. 20-21.
10. 集学的治療が奏功した口腔原発神経内分泌癌の 1 例.:櫻井 繁, 浜名智昭, 佐藤成紀, 濱田充子, 虎谷茂昭, 岡本哲治.:第 73 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 (川越), 2019. 4. 20-21.
11. 近赤外分光法 (Near-infrared spectroscopy) を用いた歯科装具の装着刺激による脳血流動態の解析 第二報.:宮田秀政, 谷 亮治, 浜名智昭, 虎谷茂昭, 岡本哲治.:第 73 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 (川越), 2019. 4. 20-21.
12. 口腔扁平上皮癌細胞の浸潤・増殖における Claudin1 の機能解析.:信本忠義, 津島康司, 林堂安貴, 岡本哲治.:第 73 回日本口腔科学会学術集会(川越市), 2019. 4. 20.
13. 口腔癌患者における腸内ならびに口腔内細菌叢の多様性解析 第二報.:松井健作, 谷亮治, 濱田充子, 虎谷茂昭, 大友剛, 徳丸浩一郎, 岡本哲治.:第 73 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会(川越), 2019. 4. 20-21.

14. 基底細胞母斑症候群 (NBCCS) の変異解析及びインテグレーションフリー・フィーダーフリー・無血清培養系での NBCCS 特異的 iPSC の樹立. : 中瀬洋司, 濱田充子, 中峠洋隆, 大林史誠, 山崎佐知子, 畑 毅, 北村直也, 山本哲也, 虎谷茂昭, 岡本哲治. : 第 73 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 (川越), 2019. 4. 19-21.
15. CRISPR/Cas9 システムを用いた扁平上皮癌 (SCC) 細胞における Heparin-binding protein 17/FGF-Binding Protein-1 (HBp17/FGFBP-1) の機能解析. : 檜垣美雷, 新谷智章, 佐藤成紀, 岡本哲治. : 第 73 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 (川越), 2019. 4. 19-21.
16. 無血清オーガノイド培養法を用いたマウス人工多能性幹細胞 (miPSC) からの顎顔面頭部組織の誘導. : 大林史誠, 濱田充子, 佐藤成紀, 中峠洋隆, 山崎佐知子, 岡本哲治. : 第 73 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 (川越), 2019. 4. 19-21.
17. Lymphokine-activated killer 細胞の細胞障害活性の誘導に及ぼすコレステロール合成阻害剤の影響. : 三島健史, 谷 亮治, 松井健作, 内迫香織, 濱田充子, 虎谷茂昭, 岡本哲治. : 第 73 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 (川越), 2019. 4. 19-21.
18. バイオフィードバックを取り入れた嚥下リハビリテーションが著効を示した脳幹梗塞後遺症の一例. : 有田裕一, 坂本哲彦, 谷 亮治, 吉岡幸男, 小泉浩一, 新谷智章, 林堂安貴, 虎谷茂昭, 岡本哲治. : 第 73 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 (川越), 2019. 4. 19-21.
19. 広島市立安佐市民病院歯科・口腔外科における骨粗鬆症治療患者における ARONJ 発症の臨床統計学的検討. : 伊藤奈七子, 岡本康正, 虎谷茂昭, 岡本哲治. : 第 73 回日本口腔科学会学術集会 (川越), 2019. 4. 20-21.
20. 鼻唇溝皮弁を用いた薬剤関連顎骨壊死 (MRONJ) に対する外科療法. : 明見能成, 坂上恵理, 藤田善教, 岡本哲治. : 第 73 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 (川越), 2019. 4. 20-21.
21. 上顎 MRONJ に起因する咀嚼筋隙膿瘍を消炎後に鼻唇溝皮弁を用いて外科療法を行った 1 例. : 野村純平, 小林順子, 門田貴恵, 坂上恵理, 藤田善教, 岡本哲治, 明見能成. : 第 47 回 (公社) 日本口腔外科学会中国四国支部学術集会 (福山), 2019. 5. 25.
22. 疼痛コントロールに硬膜外麻酔下放射線治療が有効であった悪性腸腰筋症候群の一例. : 則行敏生, 高澤信好, 中布龍一, 野本佳葉子, 伊藤 翼, 小田原めぐみ, 藤原ちえみ. : 第 24 回日本緩和医療学会学術大会 (横浜), 2019. 6. 21-6. 23.
23. 認知症者のがん疼痛管理に置ける看護師に困惑感と観察に関する認知調査. : 小田原めぐみ, 藤原ちえみ, 森明千晴, 久保早矢香, 岡本尚子, 浜本悠香, 奥河知恵, 中司博司, 平井俊明, 伊藤 翼, 則行敏生. : 第 24 回日本緩和医療学会学術大会 (横浜), 2019. 6. 21-6. 23.
24. 西日本豪災害被災後の破傷風罹患者に対して嚥下リハビリ介入を行った一例. : 重見留菜, 神崎智子, 有田裕一, 大下雅恵, 松岡聖剛. : 第 20 回日本言語聴覚学会 (大分), 2019. 6. 28-29.
25. 悪性腫瘍患者の骨吸収抑制薬使用における院内口腔管理システムの確立と地域連携パスの構築. : 伊藤奈七子, 丸子 恵, 中林八千代, 古川明美, 岡本康正. : 第 21 回日本医療マネジメント学会 (名古屋), 2019. 7. 19-20.
26. 歯科衛生士による中毒性表皮壊死症患者に対しての口腔ケア介入. : 鹿林七瀬, 柴田ありす, 奥河知恵, 鷹津冬良, 伊藤 翼. : 第 14 回日本歯科衛生士学会 (名古屋), 2019. 9. 21- 23.
27. 人工呼吸器装着時の口腔有害事象への対応の 1 例. : 奥河知恵, 鹿林七瀬, 柴田ありす, 鷹津冬良, 伊藤 翼, 第 14 回日本歯科衛生士学会 (名古屋) 2019. 9. 21-23.
28. 当科における 10 年間の唾石症患者に関する臨床的検討. : 中瀬洋司, 浜名智昭, 坂上泰士, 山崎佐知子, 角 健作, 神田 拓, 小泉浩一, 谷 亮治, 林堂安貴, 虎谷茂昭, 岡本哲治. 第 29 回日本口腔内科学会・第 32 回日本口腔診断学会・第 12 回日本口腔検査学会・第 30 回日本臨床口腔病理学会合同学術大会 (東京), 2019. 9. 22.
29. 当科で治療を行なった深頸部膿瘍の 3 例. : 吉岡幸男, 佐藤成紀, 大林史誠, 桜井繁, 山崎佐知子, 浜名智昭, 小泉浩一, 虎谷茂昭, 岡本哲治. : 第 29 回日本口腔内科学会・第 32 回日本口腔診断学会・第 12 回日本口腔検査学会・第 30 回日本臨床口腔病理学会合同学術大会 (東京), 2019. 9. 22.
30. 当科における過去 12 年間の顎下膿瘍に関する臨床的検討. : 高橋秀明, 山崎佐知子, 吉岡幸男, 坂上泰士, 浜名智昭, 神田 拓, 小泉浩一, 谷 亮治, 林堂安貴, 虎谷茂昭, 岡本哲治. : 第 29

- 回日本口腔内科学会・第32回日本口腔診断学会・第12回日本口腔検査学会・第30回日本臨床口腔病理学会合同学術大会（東京），2019.9.22.
31. 当科における10年間の唾石症患者に関する臨床的検討：中瀬洋司，浜名智昭，坂上泰士，山崎佐知子，角健作，神田拓，小泉浩一，谷亮治，林堂安貴，虎谷茂昭，岡本哲治：第12回日本口腔検査学会・第30回日本臨床口腔病理学会・第29回日本口腔内科学会・第32回日本口腔診断学会合同学術大会（東京），2019.9.20-23.
  32. 長期に治療を行った増殖性疣贅状白板症(Proliferative verrucous leukoplakia:PVL)の一例：廣田傑，吉岡幸男，三島健史，虎谷茂昭，岡本哲治：第12回日本口腔検査学会・第30回日本臨床口腔病理学会・第29回日本口腔内科学会・第32回日本口腔診断学会合同学術大会（東京），2019.9.20-23.
  33. 薬剤誘導性リプログラミングシステムを用いたがん幹細胞のin vitro休眠・増殖モデルの確立：告恭史郎，矢野公義，濱田充子，岡本哲治，田原栄俊，嶋本 颯：第92回日本生化学会大会（神奈川）2019.9.
  34. 次世代シーケンサーを用いた口腔癌患者の口腔内細菌叢の多様性解析：松井健作，谷亮治，濱田充子，虎谷茂昭，大友剛，徳丸浩一郎，岡本哲治：第18回中国四国口腔癌研究会学術講演会（広島），2019.10.11.
  35. Lymphokine-activated killer 細胞の細胞障害活性の誘導に及ぼすコレステロール合成阻害剤の影響：三島健史，谷亮治，松井健作，内迫香織，濱田充子，虎谷茂昭，岡本哲治：第18回中四国口腔癌研究会，（広島）2019.10.11.
  36. ガマ腫と類似した臨床経過を呈した乳児先天性口底癌リンパ管奇形の1例：松井健作，神田拓，吉岡幸男，濱田充子，織田真琴，坂本真一，虎谷茂昭，岡本哲治：第67回NPO法人日本口腔科学会中国・四国地方部会（広島），2019.10.12.
  37. 当科および関連病院における骨吸収抑制薬関連顎骨壊死（antiresorptive agent related osteonecrosis of the jaw: ARONJ）の臨床的検討：林靖也，吉岡幸男，坂上泰士，山崎佐知子，浜名智昭，角健作，神田拓，小泉浩一，谷亮治，林堂安貴，虎谷茂昭，伊藤奈七子，岡本康正，鷹津冬良，伊藤翼，石田康隆，佐渡友浩，中峠洋隆，小林雅史，坂本哲彦，明見能成，岡本哲治：第67回NPO法人日本口腔科学会中国・四国地方部会（広島），2019.10.12.
  38. 薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）に対する外科療法—鼻唇溝皮弁併用の有用性—：藤田善教，野村純平，小林順子，門田貴恵，坂上恵理，岡本哲治，明見能成：第67回NPO法人日本口腔科学会中国・四国地方部会（広島），2019.10.12.
  39. 上顎MRONJに起因する咀嚼筋隙膿瘍を消炎後に鼻唇溝皮弁を用いて外科療法を行った1例：野村純平，小林順子，門田貴恵，坂上恵理，藤田善教，岡本哲治，明見能成：第67回NPO法人日本口腔科学会中国・四国地方部会（広島），2019.10.12.
  40. 尾道総合病院におけるBMAの使用状況と尾道市歯科医院および調剤薬局における認知度の調査：伊藤翼：第64回日本口腔外科学会学術総会（北海道），2019.10.25-27.
  41. 薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）に対する外科療法—鼻唇溝皮弁併用の有用性—：藤田善教，野村純平，坂上恵理，岡本哲治，明見能成：第64回（公社）日本口腔外科学会総会学術大会（札幌），2019.10.25-27.
  42. 咀嚼筋隙膿瘍を消炎後に鼻唇溝皮弁を併用した上顎MRONJの外科療法の1例：野村純平，藤田善教，坂上恵理，岡本哲治，明見能成：第64回（公社）日本口腔外科学会総会学術大会（札幌），2019.10.25-27.
  43. 口腔扁平上皮癌細胞の浸潤・増殖におけるClaudin1の機能解析：信本忠義，林堂安貴，岡本哲治：第56回日本口腔組織培養学会学術大会・総会（岐阜），2019.11.2.
  44. Lymphokine-activated killer 細胞の細胞障害活性の誘導におけるインスリン及びコレステロールの機能解析：三島健史，谷亮治，松井健作，内迫香織，濱田充子，虎谷茂昭，岡本哲治：第56回口腔組織培養学会，（岐阜）2019.11.2.
  45. CRISPR/Cas9システムを用いた扁平上皮癌細胞におけるHeparin-binding protein 17/FGF-Binding Protein-1の機能解析：檜垣美雷，新谷智章，佐藤成紀，岡本哲治：第56回日本口腔組織培養学会学術大会・総会（岐阜），2019.11.2.
  46. 骨吸収薬剤関連顎骨壊死について：伊藤翼：第16回地域包括医療連携研修会（広島），2019.11.6.

47. オトガイ下皮弁を用いて再建を行った口底癌の1例: 門田貴恵, 野村純平, 小林順子, 坂上恵理, 藤田善教, 岡本哲治, 明見能成.: 第58回広島県歯科医学会 併催 第103回広島大学歯学会 (広島) 2019.11.18.

#### F) その他

1. 当科における症例報告.: 佐渡友浩, 木村直大.: 三次市歯科医師会救急医療講演会 (三次), 2019. 2. 7
2. 口腔疾患と全身疾患の関連について ; 健康長寿を目指すために.: 坂本哲彦, 有田裕一.: 南区医歯薬連携研修会 (広島) 2019. 2. 15.
3. 医科歯科連携の下、骨粗鬆症患者をどう診るか?.: 岡本康正, 伊藤奈七子.: 安佐歯科医師会講演会 (広島), 2019. 3. 6.
4. オーラルフレイルについて.: 石田康隆.: 公立下蒲刈病院 PEGENT 勉強会 (呉), 2019. 3. 7.
5. 口腔がん (舌がん、歯肉がん等) の鑑別について.: 坂本哲彦, 有田裕一.: 安芸歯科医師会学術講演会 (広島), 2019. 4. 13
6. マツダ病院第7回摂食嚥下カンファレンス.: 田辺友也, 有田裕一, 坂本哲彦.: マツダ株式会社マツダ病院 (広島), 2019. 4. 25
7. 安芸灘地区における歯科の取り組み.: 石田康隆.: 令和元年度中国地方国保診療施設協議会歯科保健研修会 (呉), 2019. 7. 26.
8. 医科歯科連携の下、骨粗鬆症患者をどう診るか?.: 岡本康正, 伊藤奈七子.: 山県郡歯科医師会講演会 (広島), 2019. 8. 3.
9. マツダ病院第8回摂食嚥下カンファレンス.: 尾上 亮, 有田裕一, 坂本哲彦.: マツダ株式会社マツダ病院 (広島), 2019. 10. 24
10. 医科歯科連携の下、骨粗鬆症患者をどう診るか?.: 伊藤奈七子, 西野宏, 林研一.: 三原歯科医師会講演会 (広島), 2019. 10. 31.
11. 摂食嚥下機能訓練研修会.: 有田裕一.: 一般社団法人広島県歯科医師会 (呉), 2019. 12. 1
12. すいがんと口腔の関わりについて 当院での試み.: 伊藤 翼.: 腫がん教室ワークショップ Osaka 2019. (大阪), 2019. 12. 7.
13. 口腔と全身.: 佐渡友浩, 津島康司.: 広島県臨床検査技師会研修会 (三次), 2019. 12. 7

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

1. 基盤研究(B)(一般)(H30-R2), 岡本哲治, 口腔癌幹細胞ニッチにおけるサイトカインネットワーク維持機構とその診断治療への応用. 課題番号: 18H0300000, H31年度, 4,900千円
2. 基盤研究(C)(一般)(H30-R2), 虎谷茂昭, 口腔扁平上皮癌由来 Side Population 細胞の癌幹細胞としての特性解析. 課題番号: 18K09744, H31年度, 1,600千円
3. 基盤研究(C)(一般)(H29-31), 吉岡幸男, 口腔癌のドライバー候補遺伝子を標的とした海洋生物由来生理活性物質の探索と創薬研究. 課題番号: 17K11838, H31年度, 1,100千円
4. 基盤研究(C)(一般)(H30-R2), 小泉浩一, 血中循環口腔癌細胞の分離とその細胞特性解析によるリキッドバイオプシーの確立研究. 課題番号: 18K09767, H31年度, 1,200千円
5. 基盤研究(C)(一般)(H29-31), 浜名智昭,  $\alpha 2$ -アンチプラスミン遺伝子搭載センダイウイルスベクターによる新規口腔癌治療研究. 課題番号: 17K11875, H31年度, 1,100千円
6. 若手研究(B)(H30-R2), 中峠洋隆, iPSC 特異的糖鎖認識レクチンの癌幹細胞マーカーとしての有用性と診断治療への応用. 課題番号: 18K17199, H31年度, 1,300千円
7. 基盤研究(C)(一般)(H31-R3), 新谷智章, HBp17/FGFBPを制御するエクソソーム由来miRNAによる口腔癌治療の開発. 課題番号: 19K103320, H31年度, 1,100千円
8. 基盤研究(C)(一般)(H31-R3), 林堂安貴, 細胞接着分子を標的とした選択的オートファジー誘導による口腔癌転移阻止療法の開発. 課題番号: 19K103100A, H30年度, 900千円
9. 基盤研究(C)(一般)(H31-R3), 谷 亮治, 口腔癌幹細胞ニッチにおけるT細胞抑制性リガンドPD-L1の発現動態と病態解析研究. 課題番号: 19K103590A, H31年度, 1,500千円

10. 基盤研究(C) (一般) (H31-R3), 山崎佐知子, 無血清培養系における口腔癌患者由来活性化リンパ球からの iPS 細胞の樹立と治療応用. 課題番号: 18K09723, H31 年度, 1,200 千円
11. 若手研究(B) (H31-R2), 廣田傑, 唾液腺組織における幹/前駆細胞の機能解析と無血清オーガノイド培養法の開発. 課題番号: 19K19197, H31 年度, 1,300 千円
12. 若手(B) (R1-R3), 坂上泰士, CD133 陽性・陰性口腔癌細胞の細胞接着分子の翻訳後修飾の解析と診断治療. 課題番号: 19K192340, H31 年度, 1,100 千円
13. 若手(B) (R1-R3), 濱田充子, 顎顔面口腔領域遺伝性疾患特異的 iPSC の樹立・ゲノム手術・疾患モデルに関する研究. 課題番号: 19K191980, H31 年度, 1,100 千円
14. 若手(B) (R1-R2), 松井健作, メタゲノム・メタ 16S 解析を用いた口腔癌患者の腸内並びに口腔内細菌叢の多様性解析. 課題番号: 19K191620, H31 年度, 1,100 千円
15. 若手(B) (R1-R2), 田口有紀, 無血清培養系での歯髄由来 iPSC 細胞の未分化性の維持に関する細胞増殖因子群の同定. 課題番号: 19K192330, H31 年度, 800 千円
16. 若手研究 (R1-R2), 松井健作, メタゲノム・メタ 16S 解析を用いた口腔癌患者の腸内並びに口腔内細菌叢の多様性解析. 課題番号: 19K19162, R1 年度, 1,600 千円
17. スタートアップ (R1-R2), 信本忠義, タイトジャンクション構成蛋白を標的とした核酸医薬による口腔癌転移阻止療法の開発. 課題番号: 19K24147, R1 年度, 1,100 千円
18. スタートアップ (R1-R2), 三島健史, コレステロール代謝の修飾による CD8+T 細胞の抗腫瘍活性の増強効果の解明. 課題番号: 19K24148, R1 年度, 1,100 千円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

1. T. Okamoto: 2019 SIVB Distinguished Lifetime Achievement Award, 2019.6.8-12 (Tampa USA)
2. 岡本哲治: 名誉会員推戴: 日本口腔組織培養学会 2019.11.2 (岐阜)
3. 岡本哲治: 特別功労賞: 広島大学顎・口腔外科 (第一口腔外科) 同門会 2019. 11. 17. (広島)

#### (6) 特許

該当なし